

審議会会議録

会議名称	平成30年度第1回伊達市男女共同参画推進市民会議		
議 題	(1) 「伊達市男女共同参画ガイドブック」について (2) その他		
開催日時	平成 30 年 5 月 28 日 (月) 18:00～18:50		
場 所	伊達市役所2階 会議室A		
出席者	出席委員8名		
	所管部課名	企画財政部企画課	4名
		健康福祉部子育て支援課	1名
		生涯学習課	1名
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1 開 会			
2 会長あいさつ			
3 議題			
(1) 「伊達市男女共同参画ガイドブック」について			
■ 事務局 (会議資料に沿って説明)			
● 委員 昨今、女性から男性へのDVもあると聞く。男女共同参画が進んでいく中で女性だけでなく、別の視点から見ても見たい。			
● 委員 「地域で活動する女性団体を応援」となるとどのようなことをしているのか。			
◇ 生涯学習 280名、6団体を女性団体と認識しているが、研修会や講習会の案内を行っている。補助金などは出してはいない。			
● 委員 女性団体を応援しただけではなく、男性が加入する団体も応援するのであれば、表記の仕方はこれでよいのか。			
◇ 生涯学習 男女共同参画を推進する団体を…に変更したがよいか検討する。			
● 委員 母子保健事業という記載があるが、父子もいるなかで表記はこれでよいのか。			
◇ 生涯学習 母子保険法という法律があるため、それに合わせた表記となっている。			
◎ 会長 その他、皆さまからご意見やご感想をお願いしたい。			
● 委員 戦後、女性の社会進出は進んできたが、まだまだ男性社会であるかと思う。ガイドブックの一部でも社会に浸透すればと思う。			
● 委員 最近はハラスメントがあっても、声を出せる社会になってきたように思う。ただ、まだ世代間の差があるようには感じる。			
● 委員 ガイドブックを職場の窓口に設置したが、全く減らなかった。内容は充実しているのに目にしてもらえないのは残念。女性の社会進出は進んでいるが、若い世代では将来は家庭に入るといいう考えもあるようだ。この会議をフィードバックしていきたい。			

- 委員 男性は青、女性はピンクというような、色についての差別もあるのではないかと思います。そういう面も男女関係なく自由になればよいと思う。
- 委員 ガイドブックの中身で、学校の紹介については、毎年確認を行っているとのことだが、男女共同参画と関係のないところが多いように思うので改善してもよいと思う。社会では、女性進出は増えているが、管理職となると抵抗があるのではないかと感じる。女性が管理職となっても働き易い環境作りが必要。
- 委員 事務職と聞くと、皆さん女性をイメージすると思うが固定観念があるのかなと感じている。営業は男性ということではなく、女性は柔らかい雰囲気ですることができるという面もある。企業にこのガイドブックを読んでもらうと、少し社会の意識を変えることが出来るのではと感じる。
- 委員 社会で活躍している女性がいるので、その方たちの声を聞くことで取組みに弾みがつくのではないかと感じる。
- ◎ 会長 職場での発言も、普段普通に使われている言葉も、男女で置き換えるとセクハラ・パワハラになったりする。ハラスメントは、男性から女性のものだけではないので、男女とも意識の改革が必要かと思う。

## (2) その他

- 事務局 (生涯学習課より今年度の「男女共同参画教養講演会」「女性プラザ」「パネル展」「女性リーダー研修」について情報提供)  
(子育て支援課より「児童福祉ガイドブック」についての情報提供)

## 4 閉会